

第1章 計画の意義等

- 第1節 計画の意義
- 第2節 計画の位置付け
- 第3節 対象区域
- 第4節 計画期間

第2章 四国圏の発展に向けた方針

- 第1節 四国圏の課題
 - 1. 社会の潮流
 - 2. 四国圏の現状と課題
 - (1) 四国圏の概要
 - (2) 四国圏の現状と課題
- 第2節 四国圏の将来像
 - 1. 四国圏の将来像
 - 2. 将来像の実現に向けた基本戦略

第3章 四国圏の発展に向けた目標

- 第1節 四国圏の目標
- 第2節 四国圏の発展に向けた取り組み
 - ※目標の実現に向けた取り組みを記載

第4章 主要な施策(広域連携プロジェクト)

※目標の実現に向け、広域の見地から戦略的に行う必要がある施策を記載

第5章 計画の推進等

- 第1節 他圏域との連携
- 第2節 計画の推進体制

- ・赤枠は、骨子のとりまとめ対象範囲を示す。
- ・第3章第2節 四国圏の発展に向けた取り組み以降は、骨子策定以降に検討。

四国圏の現状と課題

<p>自然の脅威の増大</p> <ul style="list-style-type: none"> ・切迫する南海トラフ地震 ・気候変動による風水害の激甚化・頻発化、生態系等への影響の懸念 	<p>人口減少 少子高齢化の深刻化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人口減少率・高齢化率が全国と比べて高く、担い手不足や地域活力低下の懸念 	<p>地域の活力を生み出す新たな動き</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まちづくりや移住促進など地域の活力を生み出す新たな動きの存在 	<p>個性ある地域の存在</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然、歴史・文化、食など個性ある地域資源が各地域に存在 	<p>交流の弱さ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・圏域内外での人流や物流の動きが弱い
--	---	---	--	--

四国圏の将来像

〈計画期間〉

2050年さらにその先の長期を見据えつつ、策定から今後概ね10年間

<p>強くしなやかに 自然と共生する安全・安心な四国</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人々が自然と共生しながら、安心感を持って暮らせる四国 	<p>人と地域が混ざり合い 新たな魅力を創造する四国</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多様な人や地域が集い、つながり、連携し、新たな魅力を造り出す四国 	<p>誰もが活躍し、 豊かに暮らせる四国</p> <ul style="list-style-type: none"> ・誰もが挑戦・活躍し、新たな産業・暮らし方を実現する四国
---	---	--

将来像の実現に向けた基本戦略

- ①弱みを強みに変える
- ②多様性を活かし、連携による総合力を発揮
- ③多能な人材と多機能な施設
- ④四国ならではの豊かさの再認識

人口減少・少子高齢化や巨大災害など課題解決への挑戦を通じ、新たな四国の成長力や希望を持てる社会を創出。地域同士が課題や魅力を共有し持続的な地域の発展、人や地域など分野を超えた連携による新たな活力を創出。一人で複数の役割を担い地域の担い手として活躍、多面的・複合的な施設整備による最大限の効果発揮。独自の自然・歴史・文化や暮らしなど四国ならではの豊かさを再認識し、地域の特徴を最大限に活用。

四国圏の目標

<p>南海トラフ地震や風水害に対応する安全安心な四国</p> <ul style="list-style-type: none"> ・南海トラフ地震や激甚化・頻発化する風水害など巨大災害から生命と暮らしを守る ・地域の暮らしを支える社会インフラの持続可能なインフラメンテナンスシステムの実現 	<p>気候変動対策や自然環境の保全・利活用により自然と共生する四国</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2050年カーボンニュートラルの実現に向けた地域づくり ・森林や海洋の自然環境の保全・利活用 ・自然の力を活かした地域課題解決や地域活性化等 	<p>個性ある地域が連携して活力あふれる四国</p> <ul style="list-style-type: none"> ・暮らしに必要な様々なサービスを柔軟な範囲で重層的に提供する地域生活圏の形成により、地域の生活の質の維持と向上 ・地域一体での土地・建物 の適切な利用と管理 	<p>歴史・文化、風土を活かした交流・連携により人をひきつける四国</p> <ul style="list-style-type: none"> ・四国遍路など個性ある地域資源を活用した地域活性化と持続可能な観光地域づくり ・圏域外へ四国の魅力発信 ・圏域内外との交流・連携の強化 	<p>多様性が尊重され、誰もが生き生きと活躍する四国</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多様なライフスタイルが実現できる魅力ある地域づくり ・挑戦や失敗が許容される環境づくり ・地域を支える担い手や仕組みの創出 	<p>地域産業の成長と創出により競争力を発揮する四国</p> <ul style="list-style-type: none"> ・DX、GX、SDGsなど事業環境の変化を捉えつつ、地域資源の活用や生産性向上による産業の成長 ・連携やイノベーションによる新たな産業の創出と市場・販路の拡大 ・農林水産業の生産力向上と持続性確保
--	--	---	--	--	--